

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第8週（令和7年2月17日～令和7年2月23日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第8週は、感染性胃腸炎の定点当たりの報告数が12.90と前週に比べて約1.3倍に増えており、今後の動向に注意が必要です。本疾患は、細菌やウイルス等により起こる胃腸炎の総称で、病原体が手指や食品等を介して口に入り、潜伏期間の後、おう吐、下痢、腹痛等を起こします。家庭や集団生活では感染拡大しやすいため、トイレの後、調理前、食事の前には、必ず流水と石けんによる手洗いを励行しましょう。ふん便やおう吐物を処理する際には、使い捨ての手袋・マスク等を着用し、適切に処理しましょう。また、おう吐や下痢により、脱水症状を起こすことがあるため、こまめな水分補給も大切です。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	14	102	198	1,524
腸管出血性大腸菌感染症	2	7	32	185
A型肝炎	1	3	2	16
レジオネラ症	1	8	23	208
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	15	25	258
後天性免疫不全症候群	2	2	11	90
侵襲性肺炎球菌感染症	2	27	64	780
梅毒	14	130	150	1,584
百日咳	26	127	280	1,474

■ 定点把握疾患報告数

■：警報レベル

■：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,157	5.87	0.92	25,413	5.15
インフルエンザ	326	1.65	0.77	12,964	2.63
RSウイルス感染症	260	2.18	1.17	3,315	1.06
咽頭結膜熱	62	0.52	1.38	886	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	491	4.13	1.13	6,499	2.08
感染性胃腸炎	1,535	12.90	1.30	24,106	7.70
水痘	43	0.36	0.73	744	0.24
手足口病	8	0.07	0.80	198	0.06
伝染性紅斑	30	0.25	1.43	1,742	0.56
突発性発しん	27	0.23	0.71	558	0.18
ヘルパンギーナ	0	0.00	—	23	0.01
流行性耳下腺炎	4	0.03	0.80	112	0.04
急性出血性結膜炎	2	0.08	1.00	22	0.03
流行性角結膜炎	8	0.31	0.44	518	0.74
細菌性髄膜炎	0	0.00	—	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	—	4	0.01
マイコプラズマ肺炎	5	0.33	0.71	201	0.42
クラミジア肺炎	0	0.00	—	—	—
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	3	0.20	3.00	35	0.07

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。